



【問い】介護施設に入所を検討している77歳の父親がいます。歯がぐらぐらする所が何カ所もあり、時々痛みを訴えます。口腔(こうくう)ケアをすると改善すると聞きました。詳しく教えてください。

(五島市、50歳女性)

【答え】要介護者にとつての口腔ケアは、誤嚥(ごえん)性肺炎や、むし歯、歯周病、口臭などの口腔疾

患の予防、そして健康の保持・増進にもつながり、生きていく上で欠かすことのできないものです。

歯磨きや入れ歯の手入れなど、自分でできる範囲のことは自分で行うセルフケアが基本で、足りない所は介護者が補います。

施設、病院などでは歯科医師や歯科衛生士による専門的口腔ケアを行います。さらには口腔内環境を整えることで、さまざまな病気を予防でき

たりもします。要介護者にとどまらず、歯周病を予防するための口腔ケアは欠かすことのできないものです。歯がぐらぐらするのは、歯周病が進行している可能性が高いと思われま

### 高齢者の口腔ケア

#### 不足分を介護者が補う

回答者 米山須弥也  
五島市三井楽町浜ノ畔  
米山歯科医院院長



歯科治療や専門的口腔清掃、摂食・嚥下リハビリなど幅広い内容です。いずれも適切な指導、助言をしてもらい、整った口腔内環境を保つことが大切です。

口腔機能はかんだり、話

血したり、最終的には歯が抜けてしまう病気ですが、進行して歯周病菌が血液中に入ると心内膜炎という心臓病を引き起こすこともあります。狭心症や心筋梗塞など心臓病のリスクを高めます。

#### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。